



陳情第3号

陳情書

高浜発電所1、2号機の速やかな再稼働を求める陳情書

令和 2年 9月 16日

高浜町議会
議長 上尾 徳郎 殿

陳情書

高浜発電所1、2号機の速やかな再稼働を求める陳情書

平成23年3月11日に発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故を契機に、高浜発電所の全4基も停止する事となりました。発電所の運転開始以来、高浜町の基幹産業であり、地域最大の雇用創出先である発電所の停止に伴い、地域経済は元より自治体財源へも多大な影響を与え、地域住民の生活基盤をも揺るがしかねない状況となりました。平成29年度には約6年間の停止期間を経て、3号機、4号機が本格的に再稼働し、翌30年度には新規制基準の下で初めての定期検査が行われ、町内企業への仕事の発注や作業員の民宿利用が増加し、ようやく東日本大震災前の高浜町の経済状態へ戻りつつあります。

また、1号機と2号機は、平成28年6月に運転期間延長が認可され、現在、安全性向上対策工事が間もなく完了の目途がつくと聞いており、再稼働の準備が整いつつあると考えております。地域経済の更なる回復と、地域住民の生活基盤の安定を考えると、3号機、4号機に続いて、1号機、2号機の再稼働が必要であります。

商工業の視点からは、地域経済の回復と更なる発展、そして地域住民の雇用確保とそれに伴う商工業の発展のために、地域の基幹産業であり、地域最大の雇用創出先である高浜発電所として引き続きその役割を果たされることを望みます。

観光業の視点からは、昨今の経済情勢や顧客ニーズの多様化により、観光客数が年々減少傾向の中、発電所の安全対策工事や定期点検に伴う作業員の町内への入込者数の増加は、町内宿泊者数の増加の一端を担っているのも事実であり、今後とも地元観光業との共存共栄が図られることを望みます。また、高浜発電所においては新型コロナウイルス感染予防対策が徹底され、宿泊受入先においても大きなトラブルや感染者を出す事もなく推移しておりますが、引き続き慎重な感染予防対策を求めます。

女性の視点からは、幸せな家庭生活を営むためには、安心して暮らせる生活環境が必要であり、この美しい高浜町を子々孫々に繋ぎ、将来にわたり安定、安心して働ける雇用の充実と豊かな町づくりを進めるためには、これからも高浜発電所との共存共栄が重要であると認識しております。

以上の事から、原子力規制委員会の審査に合格した原子力発電所については、安全安心運転の遂行を前提に、高浜発電所1号機、2号機の速やかな再稼働を陳情致します。

以上